

**この人！ 海上の森と共に 大島啓孟さん**

森とのなれそめは 1994 年に人の案内で森を散策したことに始まります。森があり、様々な植物に囲まれた里の風景でしたが、何故か私の心に残り感動したことが森に来るきっかけになりました。当時、愛知万博の開催の是非を問う運動の賛否両論で様々な活動が行われており、それらの運動をもとに森を訪れる人々も多く、関心も高く成行に注目が集まるころでした。時に開催誘致のノボリが数多く森を彩りそして一夜明ければ全てが薙ぎ倒される手荒い運動が繰り返されていたのも今では思い出の一つです。木々に名札が掛けられ、変わった光景が見られたのも誘致決定前の出来事でした。結果は様々な条件をクリアし開催が決定し主会場が長久手となり、森の破壊は免れ元の静けさを取り戻しました。森を守った立役者、オオタカ、絶滅危惧種のシデコブシ、森の南北を走る猿投山断層群などが挙げられているようです。

2000 年秋、東海豪雨は海上の森にも影響を与え

センター職員の間接的リーダー

**かたりべのひと言！**

～未知の森～ 海上の森の自然についてこれまでに多くの調査がされ、たくさんの種類の生き物がいることがわかりました。ある専門家は、海上の森のような里山でこれだけの調査されたことはないだろうと言われました。

しかし、きのこの調査学習会で講師が、「このきのこは名前もついていない」との話が度々ありました。名前さえない生き物が海上の森にまだいるのです。

ところで、私たちはヒトの遺伝子でさえ、最近やっと解読できたところです。それでさえ、多くが、どのような働きがあるのかわかっていないそうです。医療に直結し世界中の人たちが期待している分野でもこのような状況です。

そう考えると、海上の森に暮らす生き物たちについて、私たちは何も知らないのでしょうか。海上の森が私たちにとって、どのような意味があるのか判断する材料を私たちは十分持っていないのかもしれない。(M・I)

道路の決壊、流失、人工林の崩壊など数多くの被害をもたらした傷跡が残されました。同じ年森に新たな取組が始まり、愛知県指導のもと県民ボランティアによる森の手入れが始まりました。山口、海上地域は歴史的にも古く縄文、弥生時代より人々の生活の場としての歴史を有し 6～7 世紀の古墳、鎌倉時代からの焼物（瀬戸物）古窯などでも知られますが、一時期周辺一帯が荒廃した歴史もあります。1905 年以降時の政府により復元工事が始まり以後曲折えて森として甦りました。1945 年戦後の混乱から一時森が荒れたこともありましたが 50 年代になり植林などで徐々に回復しました。しかし国内の林業は輸入材に押され衰退の一途で、手入れの行き届かない人工林も多く見られます。2000 年以後ボランティア、協力企業などにより常に人々の手が入り里山として機能し始めたと考えられます。今後も県民参加が主体となり森作り、里作りが進み日本での里山として世に知られることが望ましいです。

プロフィール レクリエーションコーディネーター、キャンプディレクター1級、自然観察指導員。'05 年愛知万博瀬戸会場里の自然学校のインタープリター。'00 年、里の教室などリーダーとして参加。



**森のなかま**

**ヤブツバキ** 冬の森は他の季節と比べて「色」が少なくなります。そのような「色」の少ない冬場に大きくて鮮やかな真っ赤な花をつけて目立つヤブツバキ。ヤブツバキはツバキ科ツバキ属の常緑の低木。ツバキの名の由来は、葉が厚いので「アツバキ」という意で、「ア」がとれたものといわれる。また一説には「光葉木（テルバキ）」で「テル」が縮まって「ツバキ」になった、「艶葉木（ツヤバキ）」が「ツバキ」になったともいわれています。ツバキの種子を搾り取った油を椿油といい、通常は女性の髪につけますが、てんぷら用に使用してもおいしいそうです。

参考文献：牧野富太郎選集 第二巻（牧野富太郎、1975、東京美術）



# 展示の目玉

「繭玉広場」みなさんは、遊歩施設内にある繭玉広場の「繭玉」とは何だかご存知でしょうか？繭玉広場にある木造の建物は「ヤママユ」の形をモチーフにして造られました。ヤママユって何？と思う方も多いのではないかと思います。そこで、今回新たに建物のモチーフとなったヤママユについて紹介するパネルを設置しました。そして、ヤママユの実物を展示しました。



ヤママユとウスタビガの繭



繭玉広場



# その他のお知らせ

海上の森に入山、散策される方を見ていると、実に様々な人が訪れて来られると感じます。都市の公園を散歩してきたような方、重装備での登山を思わせる方、巨大な望遠レンズを担いだカメラマン、自然観察のグループ、虫取り網を持った親子連れ、畑仕事や山仕事の方、何かの調査をされる方、ジョギングなどなど、挙げていったらきりがありません。

当センターは、海上の森の環境を永く保ち、いろいろな目的を持った人同士が気持ちよく活動できるためには、お互いに最低限のマナーを守るべきとの考えから、海上の森入口駐車場へのマナー看板の設置を予定しています。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

# イベント・参加者募集 もりもり集まれ!

イベント名	開催日	定員	募集期間	対象
★森の楽校（土のにおい森のいぶきに触れる春の一日）	4/19(日)	50名	2/19-4/5	小学生以上、小学生は保護者同伴
♪調査学習会（海上の森の植物）	5/10(日)	30名	3/10-4/26	
♪調査学習会（海上の森の野鳥）	5/17(日)	30名	3/17-5/3	
★森の教室（親子編）	5/17(日)	50名	3/17-5/3	小学生とその親
♪里の教室（第1回、全10回1セット）	5/24(日)	50名	3/24-5/10	
★海上の森ツアー	6/13(土)	50名	4/13-5/30	
★里の再生教室（第1回、全6回1セット）	6/14(日)	50名	4/14-5/31	
★森の楽校（沢のせせらぎ癒しのツアー）	6/20(土)	50名	4/20-6/6	小学生以上、小学生は保護者同伴

《応募方法》官製はがき、FAX又はE-mailに①イベント名②住所③氏名④年齢⑤電話番号を記入し、申込期限(消印有効)までに、下記の申込先へお申し込みください。申込多数の場合は抽選により決定し結果を通知します。

《申込先》

★印のイベント **あいち海上の森センター**（〒489-0857瀬戸市吉野町304-1、Tel:0561-86-0606、Fax:0561-85-1841）

♪印のイベント **海上の森の会**（〒489-0857瀬戸市吉野町304-1「あいち海上の森のセンター」内「海上の森の会」事務局、Tel/Fax:0561-21-9298

「海上の森はいま」で紹介した幼児森林体験フィールドオープンに関連するイベントです。

## ◆幼児森林体験フィールドオープン式典

日時：3/20（金・祝日） 11:00-15:00

内容：オープン式、幼児森林体験フィールド概要説明、体験活動の公開講座など

## ◆森のワークショップ

日時：3/20（金・祝日） 10:00-16:00

場所：あいち海上の森センター内工作室

内容：クラフト体験、葉っぱでお絵かきなど

(\*事前の申込みは不要です。)



編集後記：フラフラ風に揺れるハンノキの花序がなんともきれいです。アオキの葉芽も動き出しています。葉が落ちた林内でも植物は静かに動き続けているようです。葉がなく、見通しがきくためメジロやカケスなどの姿もよく見ることができます。じっくり歩く冬の森もいいものです。

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)

発行日 平成21年2月17日

〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1

TEL 0561-86-0606 FAX 0561-85-1841

E-mail kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>

